

# 減災と観光に関する講演会 (2016. 7. 27)

イタリアのベニス出身のアンナさんが減災と観光の関連について講演してくださいました。ベニスは歴史と災害と観光が混在する街です。これがアンナさんの減災と観光の関連性の研究の原点です。オランダの大学で博士課程に在籍しながら、東北大の研究者として東日本大震災の被災地における復興と観光に焦点を当てた研究の正念場にあります。ベニスの紹介と自然災害事例・放射線災害事例の紹介を通じて、被災地での観光ガイドのあり方についてご自身の研究の一端を解説して頂きました。講演後の質疑も活発に行われ、終了時刻をオーバーする位熱心な討議が交わされました。海外からの訪問者は、事実の説明よりも、当事者の経験や感じた事などのストーリーに大いに関心があることを学びました。



30数名のメンバーを前にプレゼンするアンナさん。



「アドリア海の女王」といわれるベニスは、長い歴史を有する。



5世紀に造られ、19世紀まで独立を保ってきた歴史の街。コロンボがアメリカ大陸を発見した16-17世紀にはイタリアの中心都市。



アックア・アルタ: acqua alta。秋から春に掛けて発生。満潮・アドリア海北部とヴェネチアの潟の地形・季節風などによる異常な高潮。「水の都」ともいわれるが。



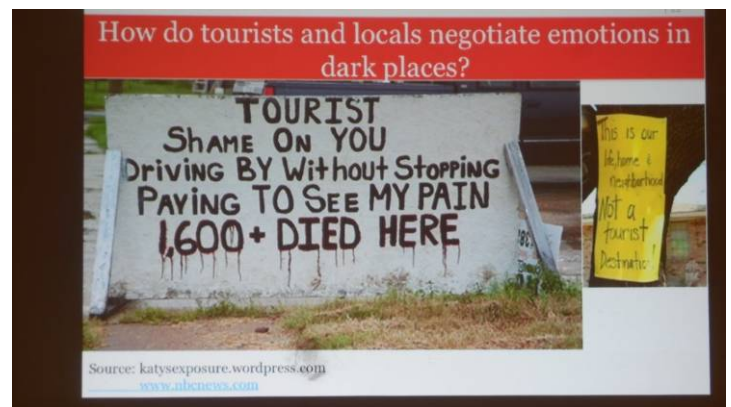
ベニスで発生した竜巻。過去にも何度か発生。



大型豪華客船による観光客の来訪。宿泊は船内。経済効果よりも大勢の人々による施設の損耗・ごみの放置の問題が大きい。



ベニスの観光と災害の現状を出発点にした発想。ダーク・ツーリズム、災害被災地・戦争跡地などを対象にした観光について、掘り下げて考えてみる。



旅行者を拒絶する被災地住民の看板。ハリケーン・カトリーナの被災地。



陸前高田市の海岸に立つ奇跡の一本松。善意の募金により、保存処置が施され立ち続ける。復興の精神的な支え。



東日本大震災の被災体験を話す語り部の方々。海外からの旅行客は、被災された方々体験談や感じたことなどのストーリーに興味がある。



35人が参加したアンナさんの講演会。



カフェ・モーツァルトでの昼食会。